

平成27年度活動報告

平成27年度は、当法人として安定した経営継続の目途をたてるべき重要な年として、下記の事業を実施しました。

また、九州ろうきんより「NPO助成」の支援を受け、下記の2と3と4の活動を重点的に実施しました。

1、補助金増額について

平成28年1月から始動している新焼却場への持ちこみ料金の改正に伴う、当法人への補助金増額については、市環境課と話し合いを行ないました。

現行110万円を28年度から170万に増額が決定しました。

2、小学生への環境教育

- ・本年度も伊万里・立花・大坪・二里小学校の3・4年生（約300名）に対して、佐賀大学農学部の染谷教授の協力を受け、環境教育を実施しました。
- ・東山代小学校の4年生と保護者100名に対して、活動の紹介とはちがめ堆肥を使ってのミニトマトの栽培の指導を実施しました。

3、国際協力への貢献

JICA紹介による東南アジア等海外から3団体35名と、直接申込による韓国からの3団体59名の視察研修を受け入れました。

4、菜の花プロジェクト活動の推進

- ・いまり菜の花の会との協働で「環境杯」グランドゴルフ大会、市内全保育園への菜の花苗と堆肥の配布、保育園児による菜の花図画展、佐賀県菜の花栽培経験交流会等を開催し、菜の花普及啓発活動を実施しました。
- ・はちがめプランの運営委員と風道の会員さんとで、今岳国営開発の5アールの農地に菜の花栽培を実施し、菜種80kgの収穫がありました。

5、食品関連事業所及び生ごみステーションの会員増強

本年度は、3事業所の増・4事業所の減となりました。

6、農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員の募集を実施しましたが、思うような拡大に至りませんでした。
- ・堆肥の方は品質向上で販売は世知原、佐世保、武雄、有田、多久、唐津等にも知名度が広がり売り上げも徐々に伸びています。

7、はちがめプランの活動のノウハウと堆肥化技術移転支援事業

佐賀市と太良町の環境課と話し合いを行ない、太良町の「佐賀西部コロニー」に対して支援開始となり、はちがめプランの堆肥化プラント見学と研修会を実施しました。

8、伊万里市との協働事業の提案

平成24年7月31日に、佐賀県を通じて伊万里市に提案し採択された「生ごみを宝に、環境と経済の新たな好循環のまちづくり」については、新焼却場開始のため、協議が進んでいません。